

## 資料

## 新人看護職員研修の教育方法の実態

林 静子<sup>1§</sup>, 石川倫子<sup>1</sup>, 寺井梨恵子<sup>1</sup>, 丸岡直子<sup>1</sup>

## 要 旨

本研究では実地指導者を対象に、新人看護職員への教育方法の実態を明らかにすることを目的とする。全国 100 床以上の医療施設 1,000 施設を抽出し、実地指導者 2,011 名を対象者とした。新人看護職員研修ガイドラインの「臨床実践能力の構造」の 3 要素について、業務マニュアルの有無と教育方法：11 種類の実施状況について回答を求めた。結果、全ての項目において《業務マニュアル・手順書》が作成され、《On the Job Training》(以下 OJT) を実施している割合が 50% 以上を示す結果であった。また、[救命救急処置] や [死亡時のケア] など、医療施設や病棟の特性によって実際に経験することが難しい技術では《モデル人形・シミュレーターの活用》を選んでいる割合が高い傾向にあった。《OJT》は技術の習得だけでなく、援助の意味を新人看護師とともに考える場によって看護実践能力の向上につながると考える。

キーワード 新人看護職員研修ガイドライン, OJT, 実地指導者, 臨床実践能力

## 1. はじめに

近年、医療の高度化や平均在院日数の短縮化、国民の医療ニーズの高まり等に伴い、看護師には高度かつ質の高い看護実践能力が求められている。看護実践能力を高めていくための一つとして、2010 年 4 月に新人看護職員研修が努力義務化され、全国の新人看護職員を迎える医療機関では「新人看護職員研修ガイドライン 改訂版」<sup>1)</sup>に沿って教育を実施し、常に最適な方法を模索している状況にある。新人看護職員研修は企画・運営・実施・評価の全ての過程における責任を負う研修責任者、各部署で実施される研修の企画・運営を中心として行い実地指導者への助言及び指導、新人看護職員への指導、評価を行う教育担当者、臨床の OJT の中で直接指導、評価等を行う実地指導者で構成された研修体制をとっている<sup>2)</sup>。

新人看護職員研修に関する調査では、研修の企画・運営にかかわる研修責任者<sup>3)</sup>や教育担当者<sup>4,6)</sup>を対象とした、施設全体の新人教育研修体制や企画・取り組み、新人看護師<sup>7,9)</sup>を対象にして看護技術の到達状況や課題を調査しているものが多い。これは新人看護職員研修の努力義務化に伴い、これまでの新人看護職員に行ってきた教育体制を見直し、新たな研修体制・教育体制を築いていく段階にあるためであると考えられる。しかし、新人看護職員研修をよりよくするためには、組織

としての新人看護職員研修の企画・運営だけでなく、実際に臨床の場で直接指導、評価を行っている実地指導者の教育方法の実態を把握し検討する必要があると考える。

そこで本研究では、臨床の場で直接指導・評価等を行っている実地指導者を対象に、新人看護職員研修に示されている項目の教育方法の実態を明らかにすることを目的とし、各研修項目に適した教育プログラム開発のための検討資料としたいと考える。

## 2. 研究方法

## 2.1 調査対象

対象施設の選定は「厚生労働省 平成 26 年医療施設(静態・動態)調査・病院報告」<sup>10)</sup>から病床数 100 床以上の医療施設 5,401 施設のうち、都道府県別に無作為に 1,000 施設を抽出した。

対象者は実地指導者とし層化抽出法により、100 床以上の医療施設に就職をしている新人看護師数の病床別割合(100～299 床：20.1%, 300～499 床：32.4%, 500 床以上：47.5%)を確認し、実地指導者の人数を想定し配布数を決定した。回収率は 20～30%を想定し、各医療施設の病床数が 100～299 床は 1 名、300～499 床は 4 名、500 床以上は各 6 名、合計 2,011 名の対象者に依頼した。調査は 2016 年 2 月～3 月に行った。

<sup>1</sup> 石川県立看護大学

## 2.2 調査方法

調査は無記名の自記式質問紙調査（以下、質問紙）を実施した。調査対象施設の看護部長宛に、実地指導者への質問紙配布の依頼文、研究協力依頼文と質問紙と返送用封筒をまとめて郵送した。対象者には質問紙記入後、返送用封筒に質問紙を入れて封をして直接返送するように研究協力依頼文を用いて依頼した。

## 2.3 調査方法

調査内容は「新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究」<sup>11)</sup>と「新人看護職員研修ガイドライン」<sup>1)</sup>を参考に研究者が独自に設問を作成した。

設問は新人看護職員研修ガイドラインの「臨床実践能力の構造」の3要素「Ⅰ.看護職として必要な姿勢と態度」「Ⅱ.技術的側面」「Ⅲ.管理的側面」について、《業務マニュアル・手順書》の有無と、《OJT》や《講義:部署内》《モデル人形・シミュレーター》の活用など教育方法11種類について該当するもの全てに○印をつけて回答を求めた。3要素に含まれる項目は〔 〕、教育方法は《 》で示す。

## 2.4 分析方法

分析対象は、各医療施設の病床別に就職をしている新人看護師数の割合に応じて、病床数別に3群（1群：100-299床、2群：300-499床、3群：500床以上）に分けた。臨床実践能力の構造に示されている3要素について、《業務マニュアル・手順書》の有無、《OJT》《講義:部署内》などの教育方法の実施の有無について、記述統計および $\chi^2$ 検定を行った。統計処理にはSPSS Statistics ver.20を用いた。 $\chi^2$ 検定の結果、期待度数5未満のセルが20%を超えた場合は、統計分析ソフトRを使用してFisherの正確確率検定を行った。

## 2.5 倫理的配慮

本研究は石川県立看護大学の倫理審査委員会の承認(看大1048号)を得て実施した。研究の目的・方法、調査への参加の任意性、不参加により不利益が生じないこと、得られたデータの匿名性の保障について、看護部長宛、対象者宛の依頼文書に記載した。質問紙は無記名とし、所属施設や個人名が特定されることがないこと、返送時に使用する封筒にも差出人の住所・氏名は記載しないこと

を説明文書に記載した。結果については学会等で発表する旨を説明文に入れた。質問紙は対象者が直接返送し、返送をもって同意が得られたものとした。

## 3. 結果

### 3.1 調査対象者の概要

質問紙の回収数256件(12.7%)、有効回収数236件(有効回収率11.7%)であった。病床数別1～3群に分けて看護師・実地指導者の経験年数、勤務している病棟内で実施している教育体制(複数回答)について表1に示した。

表1 対象者の属性

	全体	1群 100-299 床	2群 300-499 床	3群 500床 以上
有効回答数 (%)	236 (100)	91 (35.8)	79 (33.5)	66 (28.0)
看護師経験年数 (年±SD)	15.1 ±8.8	16.1 ±8.9	16.0 ±9.3	12.5 ±7.6
実地指導者経験年数 (年±SD)	3.5 ±3.9	3.0 ±3.5	3.7 ±3.7	4.0 ±4.6
教育体制(複数回答) (%)				
プリセプターシップ	191 (80.9)	71 (78.0)	61 (77.2)	59 (89.3)
パートナーシップ	46 (19.5)	17 (18.7)	13 (16.5)	16 (24.2)
チーム支援	33 (14.0)	13 (14.3)	15 (18.9)	5 (7.6)
チューター制度	19 (8.1)	9 (9.9)	5 (6.3)	5 (7.6)
メンターシップ	6 (2.5)	3 (3.2)	2 (2.5)	1 (1.5)
その他	12 (5.0)	9 (9.9)	2 (2.5)	1 (1.5)

### 3.2 臨床実践能力の構造に示された3要素の教育方法の実施の有無

(1)「Ⅰ.看護職員として必要な姿勢と態度」に関する教育方法の実施の有無(表2)

教育方法の実施では、《OJT》と《講義:部署外》が他の教育方法より多く実施されている傾向にあった。

〔生涯にわたる主体的な自己学習の継続〕項目の《OJT》の実施について有意な差がみられた( $p<.05$ )。

(2)「Ⅱ.技術的側面」に関する教育方法の実施の有無(表3-1、表3-2)

《業務用マニュアル・手順書》は、全群がすべての技術項目において50%以上が使用していた。教育方法では、全群で《OJT》を実施している技術項目が50%以上であった。特に日常生活援助

に関する〔排泄援助〕〔清潔・衣生活援助〕の技術項目では80%以上を示していた。一方、〔救命救急処置〕では、《講義：部署外》《モデル人形・シミュレーターの活用》、〔感染予防〕では《講義：部署外》が全群とも50%以上であった。〔救命救急処置〕では、《シナリオの活用》《ロールプレイ》を実施している割合が他の技術項目より高い傾向にあった。

〔環境調整〕の《シナリオを活用した模擬体験・振り返り》、〔清潔・衣生活援助〕の《講義：部署内》〔救命救急処置〕の《講義：部署内》、〔死亡時のケア〕の《講義：部署内》《モデル人形・シミュレーターの活用》に有意な差がみられた (p<.05)。

(3) 「管理的側面」に関する教育方法の実施の有無 (表4)

《業務マニュアル・手順書》は全群が14の技術項目のうち13項目において50%以上が使用していた。教育方法では、7項目のいずれも《OJT》《講義：部署外》を実施している割合が50%以上を示した。〔業務管理〕の《業務マニュアル・手順書》《講義：部署内》、〔災害・防災管理〕の《OJT》《講義：部署内》《モデル人形・シミュレーターの活用》に有意な差がみられた (p<.05)。

#### 4. 考察

新人看護職員研修を臨床の場で直接指導・評価等を行っている実地指導者の看護師・実地指導者経験年数に病床数の規模による違いは見られなかった。教育体制ではプリセプターシップを採用している施設が最も多いが、チーム支援やパートナーシップなどの教育体制と組み合わせながら行っている施設も見られた。これらのことから、新人看護職員研修において、日々の直接指導・評価を行う実地指導者は経験豊富な看護師が選ばれ、実地指導者のみならず病棟全体においてもサポート体制をとりながら教育が行われていることが示唆される。

##### 4.1 「I. 看護職員として必要な姿勢と態度」に関する教育方法の特徴

「I. 看護職員として必要な姿勢と態度」に関する項目に対する教育方法では、全群が全ての項目において《OJT》が50%以上を示していた。その中でも病床数別では〔生涯にわたる主体的な自己学習の継続〕について《OJT》を実施している割合が1群3群に比べて2群が高い傾向にあった。2群の実地指導者の経験年数は他の群に比べてやや高い傾向にあり、自らも〔生涯にわたる主

表2 病床数別「I 基本姿勢と態度」の教育方法の実施の有無 n=236

	技術項目															
	看護職員としての自覚と責任ある行動				患者の理解・家族との良好な人間関係の確立				組織における役割・心構えの理解と適切な行動				生涯にわたる主体的な自己学習の継続			
	1群	2群	3群	χ <sup>2</sup> 検定	1群	2群	3群	χ <sup>2</sup> 検定	1群	2群	3群	χ <sup>2</sup> 検定	1群	2群	3群	χ <sup>2</sup> 検定
1群：100-299床 2群：300-499床 3群：500床以上 合計人数 (%)	91 (100)	79 (100)	66 (100)		91 (100)	79 (100)	66 (100)		91 (100)	79 (100)	66 (100)		91 (100)	79 (100)	66 (100)	
業務マニュアル 手順書	<b>41</b> ( <b>54.9</b> )	32 (40.5)	32 (48.5)	n.s.	38 (41.8)	25 (31.6)	24 (36.4)	n.s.	<b>50</b> ( <b>54.9</b> )	31 (39.2)	32 (48.5)	n.s.	34 (37.4)	21 (26.6)	20 (30.3)	n.s.
OJT	<b>74</b> ( <b>81.3</b> )	<b>59</b> ( <b>74.7</b> )	<b>59</b> ( <b>89.8</b> )	n.s.	<b>71</b> ( <b>78.0</b> )	<b>69</b> ( <b>87.3</b> )	<b>57</b> ( <b>86.4</b> )	n.s.	<b>66</b> ( <b>72.5</b> )	<b>64</b> ( <b>81.0</b> )	<b>57</b> ( <b>86.4</b> )	n.s.	<b>62</b> ( <b>68.1</b> )	<b>67</b> ( <b>84.8</b> )	<b>50</b> ( <b>75.8</b> )	*
講義：部署外	<b>58</b> ( <b>63.7</b> )	<b>48</b> ( <b>60.8</b> )	<b>43</b> ( <b>65.2</b> )	n.s.	38 (41.8)	<b>41</b> ( <b>51.9</b> )	26 (39.4)	n.s.	<b>47</b> ( <b>51.6</b> )	<b>49</b> ( <b>62.0</b> )	<b>41</b> ( <b>62.1</b> )	n.s.	37 (40.7)	32 (40.5)	23 (37.8)	n.s.
講義：部署内	14 (15.4)	10 (12.7)	12 (18.2)	n.s.	12 (13.2)	10 (12.7)	8 (12.1)	n.s.	12 (13.2)	9 (11.4)	6 (9.1)	n.s.	14 (15.4)	12 (15.2)	6 (9.1)	n.s.
視聴覚教材の 活用	3 (3.3)	5 (6.3)	1 (1.5)	n.s.	2 (2.2)	3 (3.8)	1 (1.5)	n.s.	1 (1.1)	3 (3.8)	0 (0.0)	n.s.	1 (1.1)	2 (2.5)	0 (0.0)	n.s.
モデル人形 シミュレーターの活用	1 (1.1)	2 (2.5)	1 (1.5)	n.s.	0 (0.0)	2 (2.5)	0 (0.0)	n.s.	0 (0.0)	2 (2.5)	0 (0.0)	n.s.	1 (1.1)	2 (2.5)	0 (0.0)	n.s.
シナリオの 活用	5 (5.5)	3 (3.8)	2 (3.0)	n.s.	3 (3.3)	4 (5.1)	2 (3.0)	n.s.	3 (3.3)	2 (2.5)	0 (0.0)	n.s.	0 (0.0)	2 (2.5)	1 (1.5)	n.s.
ロールプレイ	4 (4.4)	6 (7.6)	4 (6.1)	n.s.	4 (4.4)	7 (8.9)	1 (1.5)	n.s.	1 (1.1)	4 (5.1)	1 (1.5)	n.s.	0 (0.0)	4 (5.1)	2 (3.0)	n.s.
自己学習	12 (13.2)	6 (7.6)	9 (13.6)	n.s.	9 (9.9)	9 (11.4)	9 (13.6)	n.s.	9 (9.9)	7 (8.9)	8 (12.1)	n.s.	23 (25.3)	9 (11.4)	11 (16.7)	n.s.
e-ラーニング	6 (6.6)	5 (6.3)	3 (4.5)	n.s.	5 (5.5)	6 (7.6)	2 (3.0)	n.s.	5 (5.5)	7 (8.9)	2 (3.0)	n.s.	5 (5.5)	5 (6.3)	1 (1.5)	n.s.

太字は実施割合が、50%を超えているもの。 \* : p<.05 n.s.: not significant  
期待度数5未満のセルが20%以上の場合 Fisher の正確確率検定を実施

表 3-1 病床数別「II 技術的側面」の教育方法の実施の有無 n=236

	技術項目																					
	環境調整			食事援助			排泄援助			活動・休息援助			清潔・衣生活援助			呼吸・循環を整える			創傷管理			
1 群 : 100-299 床	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	1 群	2 群	3 群	
2 群 : 300-499 床	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	$\chi^2$ 検定
3 群 : 500 床以上	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	検定
合計人数 (%)	75	67	54	79	67	57	84	70	58	68	60	43	77	61	57	77	61	52	69	64	52	n.s.
業務マニュアル	(82.4)	(84.8)	(81.8)	(86.8)	(84.8)	(86.4)	(92.3)	(88.6)	(87.9)	(74.7)	(75.9)	(65.2)	(84.6)	(77.2)	(86.4)	(84.6)	(77.2)	(78.8)	(75.6)	(81.0)	(78.8)	n.s.
手順書	81	66	60	82	69	61	83	70	61	79	66	60	81	70	62	80	67	57	80	67	59	n.s.
OJT	(89.0)	(83.5)	(90.9)	(90.1)	(87.3)	(92.4)	(91.2)	(88.6)	(92.4)	(85.8)	(83.5)	(90.9)	(89.0)	(88.6)	(93.9)	(84.6)	(82.3)	(86.4)	(87.9)	(84.8)	(89.4)	n.s.
講義 : 部署外	19	14	12	36	29	25	35	30	27	27	21	19	25	18	23	44	34	32	36	31	25	n.s.
	(20.9)	(17.7)	(18.2)	(39.6)	(36.7)	(37.9)	(38.5)	(38.0)	(40.9)	(29.7)	(26.6)	(28.8)	(27.5)	(22.8)	(34.8)	(48.4)	(43.0)	(48.5)	(39.6)	(39.2)	(37.9)	n.s.
講義 : 部署内	14	10	8	20	17	10	23	11	11	15	5	9	18	4	9	28	13	18	17	12	20	n.s.
	(15.4)	(12.7)	(12.1)	(22.0)	(21.5)	(15.2)	(25.3)	(13.9)	(16.7)	(16.5)	(6.3)	(13.6)	(19.8)	(5.1)	(13.6)	(30.8)	(16.5)	(27.3)	(18.7)	(15.2)	(30.3)	n.s.
視覚教材の活用	3	4	4	8	4	3	8	6	2	8	4	4	2	6	4	9	8	7	14	9	8	n.s.
	(3.3)	(5.1)	(6.1)	(8.8)	(5.1)	(4.5)	(8.8)	(7.6)	(3.0)	(8.8)	(5.1)	(6.1)	(2.2)	(7.6)	(6.1)	(9.9)	(10.1)	(10.6)	(15.4)	(11.4)	(12.1)	n.s.
モデル人形	3	4	5	9	6	7	20	20	12	10	6	9	10	10	10	19	15	15	5	7	4	n.s.
	(3.3)	(5.1)	(7.6)	(9.9)	(7.6)	(10.6)	(22.0)	(25.3)	(18.2)	(11.0)	(7.6)	(13.6)	(11.0)	(12.7)	(15.2)	(20.9)	(19.0)	(22.7)	(5.5)	(8.9)	(6.1)	n.s.
シナリオの活用	0	0	4	1	2	5	1	4	3	2	1	5	1	3	3	7	6	4	1	2	2	n.s.
	(0.0)	(0.0)	(6.1)	(1.1)	(2.5)	(7.6)	(1.1)	(5.1)	(4.5)	(2.2)	(1.3)	(7.6)	(1.1)	(3.8)	(4.5)	(7.7)	(7.6)	(6.1)	(1.1)	(2.5)	(3.0)	n.s.
ロールプレイ	1	2	3	3	5	6	2	3	4	3	6	7	4	4	2	7	7	3	3	2	2	n.s.
	(1.1)	(2.5)	(4.5)	(3.3)	(6.3)	(9.1)	(2.2)	(3.8)	(6.1)	(3.3)	(7.6)	(10.6)	(4.4)	(5.1)	(3.0)	(7.7)	(8.9)	(4.5)	(3.3)	(2.5)	(3.0)	n.s.
自己学習	13	7	8	19	8	14	19	7	14	15	7	13	15	12	15	23	17	20	20	13	16	n.s.
	(14.3)	(8.9)	(12.1)	(20.9)	(10.1)	(21.2)	(20.9)	(8.9)	(21.2)	(16.5)	(8.9)	(19.7)	(16.5)	(15.2)	(22.7)	(25.3)	(21.5)	(30.3)	(22.0)	(16.5)	(24.2)	n.s.
e-ラーニング	9	10	13	14	9	10	10	8	10	2	1	4	8	10	8	11	13	11	8	7	10	n.s.
	(9.9)	(12.7)	(19.7)	(15.4)	(11.4)	(15.2)	(11.0)	(10.1)	(15.2)	(2.2)	(1.3)	(6.1)	(8.8)	(12.7)	(12.1)	(12.1)	(16.5)	(16.7)	(8.8)	(8.9)	(15.2)	n.s.

太字は実施割合が、50%を超えているもの。 \* : p<0.05 n.s.: not significant  
 期待度数 5 未満のセルが 20% 以上の場合 Fisher の正確確率検定を実施

表 3-2 病床数別「II 技術的側面」の教育方法の実施の有無 n=236

	技術項目																				
	与薬			救命救急処置			症状・生体機能管理			苦痛の緩和・安楽確保			感染予防			安全確保			死亡時のケア		
	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群
1群：100-299床	83	72	61	80	66	60	67	57	46	66	57	45	86	75	62	78	68	57	80	74	58
2群：300-499床	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66	91	79	66
3群：500床以上	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)
合計人数 (%)	(90.1)	(86.1)	(93.9)	(87.9)	(83.5)	(90.9)	(73.6)	(72.2)	(69.7)	(72.5)	(72.2)	(68.2)	(94.5)	(94.9)	(93.9)	(85.7)	(86.1)	(86.4)	(87.9)	(83.7)	(87.9)
業務マニュアル																					
手順書																					
OJT																					
講義：部署外	42	36	33	71	58	55	75	64	61	81	65	61	80	65	60	81	65	61	77	64	56
	(46.2)	(45.6)	(50.0)	(78.0)	(73.4)	(83.3)	(82.4)	(81.0)	(92.4)	(89.0)	(82.3)	(92.4)	(87.9)	(82.3)	(90.9)	(89.0)	(82.3)	(92.4)	(84.6)	(81.0)	(84.8)
講義：部署内	25	10	13	30	32	35	22	17	19	18	11	13	28	22	28	17	20	19	14	12	20
	(27.5)	(12.7)	(19.7)	(33.0)	(40.5)	(53.0)	(24.2)	(21.5)	(28.8)	(19.8)	(13.9)	(19.7)	(30.8)	(27.8)	(42.4)	(18.7)	(25.3)	(28.8)	(15.4)	(15.2)	(30.3)
視聴覚教材の活用	7	11	6	19	9	11	11	6	3	8	3	4	21	11	14	7	5	11	7	6	5
	(7.7)	(13.9)	(9.1)	(20.9)	(11.4)	(16.7)	(12.1)	(7.6)	(4.5)	(8.8)	(3.8)	(6.1)	(23.1)	(13.9)	(21.2)	(7.7)	(6.3)	(16.7)	(7.7)	(11.4)	(7.6)
モデル人形	18	11	12	54	53	49	15	11	14	7	5	6	9	7	9	8	4	6	7	9	14
	(19.8)	(13.9)	(18.2)	(59.3)	(67.1)	(74.2)	(16.5)	(13.9)	(21.2)	(7.7)	(6.3)	(9.1)	(9.9)	(8.9)	(13.6)	(8.8)	(5.1)	(9.1)	(7.7)	(11.4)	(21.2)
シナリオの活用	4	8	3	29	23	21	3	1	3	0	1	3	3	5	6	6	7	6	2	4	5
	(4.4)	(10.1)	(4.5)	(31.9)	(29.1)	(31.8)	(3.3)	(1.3)	(4.5)	(0.0)	(1.3)	(4.5)	(3.3)	(6.3)	(9.1)	(6.6)	(8.9)	(9.1)	(1.1)	(5.1)	(7.6)
ロールプレイ	5	6	4	25	29	29	1	5	4	1	5	6	9	7	7	5	6	6	1	4	3
	(5.5)	(7.6)	(6.1)	(27.5)	(36.7)	(43.9)	(1.1)	(6.3)	(6.1)	(1.1)	(6.3)	(9.1)	(9.9)	(8.9)	(10.6)	(5.5)	(7.6)	(9.1)	(1.1)	(5.1)	(4.5)
自己学習	19	17	15	26	20	24	27	14	22	21	8	14	19	8	13	17	9	11	18	8	12
	(20.9)	(21.5)	(22.7)	(28.6)	(25.3)	(36.4)	(29.7)	(17.7)	(33.3)	(23.1)	(10.1)	(21.2)	(20.9)	(10.1)	(19.7)	(18.7)	(11.4)	(16.7)	(19.8)	(10.1)	(18.2)
eラーニング	12	15	9	15	12	15	11	8	12	7	7	12	16	12	15	13	9	14	14	11	12
	(13.2)	(19.0)	(13.6)	(16.5)	(15.2)	(22.7)	(12.1)	(10.1)	(18.2)	(7.7)	(8.9)	(18.2)	(17.6)	(15.2)	(22.7)	(14.3)	(11.4)	(21.2)	(15.4)	(13.9)	(18.2)

太字は実施割合が、50%を超えているもの。 \* : p<0.05 n.s.: not significant  
 期待度数 5未満のセルが20%以上の場合 Fisher の正確率検定を実施

n=236

表4 病床数別「Ⅲ 管理的側面」の教育方法の実施の有無

	技術項目																				
	安全管理			情報管理			業務管理			薬剤等の管理			災害・防災管理			物品管理			コスト管理		
	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群	1群	2群	3群
1群：100-299床	79	66	54	70	50	48	79	53	47	79	60	56	78	64	56	62	42	39	45	34	27
2群：300-499床	(86.3)	(83.5)	(81.8)	(76.9)	(63.3)	(72.7)	(86.8)	(67.1)	(71.2)	(86.3)	(75.9)	(84.8)	(85.7)	(81.0)	(84.8)	(68.1)	(63.2)	(59.1)	(49.5)	(43.0)	(40.9)
3群：500床以上	84	61	56	79	61	57	88	64	59	82	63	59	69	50	53	79	61	57	76	61	57
合計人数 (%)	(92.3)	(77.2)	(84.8)	(86.8)	(77.2)	(86.4)	(91.2)	(81.0)	(89.4)	(90.1)	(79.7)	(89.4)	(75.8)	(63.3)	(80.3)	(86.8)	(77.2)	(86.4)	(83.5)	(77.2)	(86.4)
業務マニュアル	79	66	54	70	50	48	79	53	47	79	60	56	78	64	56	62	42	39	45	34	27
手順書	(86.3)	(83.5)	(81.8)	(76.9)	(63.3)	(72.7)	(86.8)	(67.1)	(71.2)	(86.3)	(75.9)	(84.8)	(85.7)	(81.0)	(84.8)	(68.1)	(63.2)	(59.1)	(49.5)	(43.0)	(40.9)
OJT	84	61	56	79	61	57	88	64	59	82	63	59	69	50	53	79	61	57	76	61	57
	(92.3)	(77.2)	(84.8)	(86.8)	(77.2)	(86.4)	(91.2)	(81.0)	(89.4)	(90.1)	(79.7)	(89.4)	(75.8)	(63.3)	(80.3)	(86.8)	(77.2)	(86.4)	(83.5)	(77.2)	(86.4)
講義：部署外	52	49	36	42	40	36	31	23	21	39	37	29	52	35	35	19	16	20	19	13	17
	(57.1)	(62.0)	(54.5)	(46.2)	(50.6)	(54.5)	(34.1)	(29.1)	(31.8)	(42.9)	(46.8)	(43.9)	(57.1)	(44.3)	(63.0)	(20.9)	(20.3)	(30.3)	(20.9)	(16.5)	(25.8)
講義：部署内	20	16	20	10	11	17	13	11	17	15	11	24	17	14	23	12	12	15	11	10	13
	(22.0)	(20.3)	(30.3)	(11.0)	(13.9)	(25.8)	(14.3)	(13.9)	(25.8)	(16.5)	(13.9)	(36.4)	(18.7)	(17.7)	(34.8)	(13.2)	(15.2)	(22.7)	(12.1)	(12.7)	(19.7)
視覚教材の活用	2	5	2	0	3	2	0	4	3	2	4	5	3	3	3	0	3	4	0	3	4
	(2.2)	(6.3)	(3.0)	(0.0)	(3.8)	(3.0)	(0.0)	(5.1)	(4.5)	(2.2)	(5.1)	(7.6)	(3.3)	(3.8)	(4.5)	(0.0)	(3.8)	(6.1)	(0.0)	(3.8)	(6.1)
モデル人形の活用	1	1	2	0	0	1	0	1	3	0	0	2	1	7	2	1	0	1	0	0	1
	(1.1)	(1.3)	(3.0)	(0.0)	(0.0)	(1.5)	(0.0)	(1.3)	(4.5)	(0.0)	(0.0)	(3.0)	(1.1)	(8.9)	(3.0)	(1.0)	(0.0)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(1.5)
シナリオの活用	4	5	3	1	1	1	2	4	2	0	3	1	9	10	7	0	1	1	0	1	1
	(4.4)	(6.3)	(4.5)	(1.1)	(1.3)	(1.5)	(2.2)	(5.1)	(3.0)	(0.0)	(3.8)	(1.5)	(9.9)	(12.7)	(10.6)	(0.0)	(1.3)	(1.5)	(0.0)	(1.3)	(1.5)
ロールプレイ	3	1	4	0	0	2	2	3	3	0	1	2	14	12	9	0	0	1	0	0	1
	(3.3)	(1.3)	(6.1)	(0.0)	(0.0)	(3.0)	(2.2)	(3.8)	(4.5)	(0.0)	(1.3)	(3.0)	(15.4)	(15.2)	(13.6)	(0.0)	(0.0)	(1.5)	(0.0)	(0.0)	(1.5)
自己学習	9	2	4	9	2	4	7	1	5	10	3	4	6	2	3	6	2	4	6	2	3
	(9.9)	(2.5)	(6.1)	(9.9)	(2.5)	(6.1)	(7.7)	(1.3)	(7.6)	(11.0)	(3.8)	(6.1)	(6.6)	(2.5)	(4.5)	(6.6)	(2.5)	(6.1)	(6.6)	(2.5)	(4.5)
eラーニング	5	6	6	5	4	3	5	2	2	5	1	6	4	2	3	4	2	2	4	1	2
	(5.5)	(7.6)	(9.1)	(5.5)	(5.1)	(4.5)	(5.5)	(2.5)	(3.0)	(5.5)	(1.3)	(9.1)	(4.4)	(2.5)	(4.5)	(4.4)	(2.5)	(3.0)	(4.4)	(1.3)	(3.0)

太字は実施割合が、50%を超えているもの。 \* : p<05 n.s.: not significant

期待度数5未満のセルが20%以上の場合Fisherの正確確率検定を実施



体的な自己学習の継続<sup>1)</sup>の到達目標<sup>1)</sup>を意識しながら、日々の《OJT》の中で新人看護師に伝えている可能性が考えられる。

また、《講義：部署外》の実施も高い割合を示していた。「Ⅰ. 看護職員として必要な姿勢と態度」は、新人の時期のみならず、成長していく過程でも常に臨床実践能力の中核となる部分である<sup>1)</sup>。そのため、講義において理解するだけでなく、臨床の場で実地指導者と新人看護職員が実践しながら相互に成長しているのではないかと考える。

#### 4.2 「Ⅱ. 技術的側面」に関する教育方法の特徴

「Ⅱ. 技術的側面」では、全群が全ての技術項目で《業務マニュアル》の活用と《OJT》の実施が50%以上を示していた。特に「排泄」「清潔・衣生活」など日常生活援助に関する看護技術では《OJT》を実施している傾向が高く、日々臨床現場で直接一緒に援助をしながら指導していることがわかる。一方、「救命救急処置」では《モデル人形・シミュレーターの活用》が50%以上と他の技術項目より高い割合であり、《シナリオを活用した模擬体験・振り返り》《ロールプレイ》も他の技術項目に比べて実施されている割合が高い結果であった。新人看護師の教えられ方において、同様に臨床場面での直接的な教育よりもモデル人形やシミュレーションなどを活用した教育を受けており<sup>9)</sup>、「救命救急処置」にかかわる技術は、医療施設の特長や病棟の特殊性によってはほとんど経験することがない場合もある。また実際に「救命救急処置」が必要な状況では、《OJT》のようにゆっくり説明をしながら一緒に実施をすることが難しい場合が多い。そのため、《モデル人形・シミュレーターの活用》《シナリオを活用した模擬体験・振り返り》などの教育方法の選択となると考える。

また、「死亡時のケア」においては、《講義：部署内》《モデル人形・シミュレーターの活用》を実施している割合が1・2群に比べて3群が高い結果であった。「死亡時のケア」は「新人看護職員研修ガイドライン 改訂版」に新たに追加された技術項目であり、この項目の1年以内に到達を目指す目安は「Ⅲ：演習できる」とされている<sup>1)</sup>。3群は高度急性期を担う特定機能病院や大学病院等の施設が多く、モデル人形やシミュレーターが活用しやすい環境にあり、ガイドラインに沿って《モデル人形・シミュレーターの活用》によって演習を行っていると考えられる。しかし、モデ

ル人形やシミュレーターは高額なものも多く、予算の確保が必要である。そのため、新人看護職員研修の実施支援として行われている「新人看護職員研修事業」に含まれる都道府県で行われている外部研修事業などの多施設合同研修など<sup>12)</sup>を教育方法のひとつとして活用することも検討する必要があると考える。またシナリオの活用では教材作成に時間が必要となるため、実地指導者のみならず、研修責任者や教育担当者などが中心となって企画をしていく必要がある。

#### 4.3 「Ⅲ. 管理的側面」に関する教育方法の特徴

「Ⅲ. 管理的側面」においても《OJT》を行っている割合が高く、「安全管理」「情報管理」「災害・防災管理」では、《講義：部署外》で行われている割合が50%以上を示していた。これらは、日々の臨床現場でも教育は必要であるものの、集合教育として共通理解を図る必要性がある項目であると考えられる。また、「コスト管理」では、他の技術項目に比べ業務マニュアルを作成している施設がやや少ないが、看護基礎教育ではあまり経験することがなく、看護師となった際に必要となる視点のひとつである。今回の教育方法では《OJT》以外での教育は少ない割合を示しているが、日々の臨床場面で使用している医療器具の管理などについて説明がなされているといえる。「コスト管理」に関しても、今後意識する必要があるが、看護師長などの管理者からのサポートも必要な項目であると考えられる。

### 5. まとめ

本研究において「臨床実践能力の構造」3要素のほとんどの項目において《OJT》による教育が多く行われている結果であった。しかし、近年の高度医療に伴う技術の多様化・特殊性、高い医療安全に対する意識から、処置技術の習得に追われ個々の患者に看護を提供するという観点からの判断力や調整力を意識したOJTが実施されていない可能性が示唆されており、やり方を教える教育から先輩看護師と一緒に「看護」を考える教育の在り方への転換が重要である<sup>7)</sup>ことが挙げられている。《OJT》は新人看護職員と実地指導者がともに同じ看護場面を経験することができるため、処置技術の習得だけでなく、目の前におこっている看護現象や援助の意味を内省し、ともに「看護」を考える場とすることができ看護実践能力の向上につながるのではないかと考える。

### 謝辞

本研究を行うにあたり、質問紙にご協力いただきました皆様に心より感謝を申し上げます。なお本研究は、石川県立看護大学平成27年度学内研究助成を受けて実施した。

### 利益相反

なし

### 引用文献

- 1)厚生労働省, 新人看護職員研修ガイドライン【改訂版】: <https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10801000-Iseikyoku-Soumuka/0000049472.pdf> (accessed 2018/11/26).
- 2)日本看護協会:新人看護職員臨床研修における研修責任者・教育担当者育成のための研修ガイド.日本看護協会出版会, 9, 2010.
- 3)末永由理, 安藤瑞穂, 嶋澤奈津子, 他1名:新人看護職員研修会ガイドライン活用の実態, 東京医療保健大学紀要, 第1号, 1-7, 2014.
- 4)グレッグ美鈴, 八木哉子, 玉田雅美, 他8名:新人看護師教育における教育担当者の役割遂行のための支援, 神戸市看護大学紀要, 20, 5-13, 2016.
- 5)岡田純子, 青山ヒフミ, 勝山貴美子:看護実践の場における教育の担当者が経験から役割を学習するプロセス, 摂南大学看護学研究, 2(1), 13-22, 2014.
- 6)嶋澤奈津子, 宮本千津子, 末永由理, 他2名:新人看護職員研修を担う教育担当の活動と活動を困難にする要素, 東京医療保健大学, 第1号, 21-29, 2013.
- 7)鳥田志乃, 津本優子, 内田宏美:新卒看護師の看護実践能力と教育的支援との関連, 島根大学医学部紀要, 37, 27-36, 2014.
- 8)高橋甲枝, 村山由起子, 東玲子:新卒看護師の看護技術の到達状況と看護系大学における技術教育の課題 - 大学卒と専修学校卒を比較して-, 西南女学院大学紀要, 18, 33-43, 2014.
- 9)西尾亜理砂, 大津廣子:新人看護職員研修における看護技術の「教えられ方」の現状と課題, 愛知県立大学看護学部紀要, 18, 31-38, 2012.
- 10)厚生労働省, 平成26年医療施設(静態・動態)調査・病院報告の概要, <https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/14/> (accessed 2018/11/26).
- 11)佐々木幾美:地域医療基盤開発推進研究事業「新人看護職員研修制度開始後の評価に関する研究」, 厚生労働科学研究費補助金平成24年度~25年度総合研究報告書, <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000077516.pdf> (accessed 2018/11/26).
- 12)厚生労働省, 新人看護職員研修事業, <https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000050513.pdf> (accessed 2018/11/26).

## The Actual Situation of Education Method in The Training Guidelines of New Nurses

Shizuko HAYASHI, Noriko ISHIKAWA, Rieko TERAJ, Naoko MARUOKA

### Abstract

The purpose of this research was to clarify the educational methods used by practical leadership nurses while teaching new nurses. Out of all medical facilities nationwide, we extracted 1000 facilities with more than 100 beds and made them 2011 practical leaders. Concerning the three elements of "Structure of Clinical Practice Ability" included in the training guidelines of new nurses, we confirmed the existence of the manual and the implementation statuses of 11 kinds of educational methods. As a result of this investigation, a "Manual / Procedure" was created and we implemented "On the Job Training" for over 50% of all items. However, there was a tendency to choose "utilization of model dolls / simulators" for skills education is difficult to experience in select clinical practice settings such as [First aid treatment] and [Death care]. "OJT" assists with skills acquisition, and improves nurses' practical skills by setting the meaning of aid together as a new nurse.

**Keywords** The training guidelines of new nurses, On the job training, Practical leadership nurses, Clinical practice ability.